

「実践記録、教材・教具の部」 入賞作品一覧（小学校）

No.	作品名	教科・領域等	学校名	応募者名	作品	講評
1	主体的な学び・対話的で深い学びに効果的で、個別最適な学びを意識した算数教材の開発 ～1つのPowerPointスライドの活用を通して～	算数	多治見市立共栄小学校	中川 智香子		どの児童にとっても、活用しやすいようにパワーポイントによって1単元ずつ丁寧に説明が用意されている。さらに、グラフや角度、資料の整理などの視覚的な効果の得やすいものを、より分かりやすく扱いやすく作り上げている。児童一人一人が主体的に活用できるようにしている点がとてもよい。
2	算数「いくつになるでしょう」 ・めあてカード ・学習プリント	特別支援算数	瑞浪市立瑞浪小学校	田口 みなみ		児童が自分で選択できるめあてカードや段階的に学習できるプリントなど、主体的に学習に取り組むことができる教材である。個の実態に応じながら、2とびや乗法の素地となる考え方が定着するように工夫されている。
3	社会科の課題追究で使用する資料箱	社会科	瑞浪市立瑞浪小学校	高津 宏尚		小学校第4学年社会科「きょう土の伝統・文化と先人たち」の単元に関わって、活用する資料をデジタル化し、子供に主体的な学びを促すことができるように工夫されている。歴史的な背景や経緯、作り方等視覚的に順序立てて示してあることで、子供は分かりやすく郷土の伝統・文化についてつかむことができると考える。
4	歯科保健教育動画「にこりんチャンネル」	健康教育	恵那市立大井第二小学校	伊藤 恵理子		歯科保健に関わる内容を、アニメーションやイラストによって視覚的に理解しやすいように工夫してある。また、どの学年の児童も見たいくなる、聞きたい内容構成で、児童とともに作り上げている点も大変素晴らしい。
5	減塩プロジェクト掲示板	健康教育	中津川市立阿木小学校	中野 春香		塩についての様々な情報を、大変分かりやすく提示してある。デザイン性がよく、目にした途端について読みたくなる掲示物であり、学年問わず実生活に活かしたくなる工夫がなされている。実際に摂取してもよい食塩の量を視覚的に分かりやすく示すなどの学習の要素も充実した掲示である。